第102回外務省在外公館派遣員試験／オンライン説明会

# 第三部　質疑応答

一般社団法人国際交流サービス協会

## 質問１

年齢制限はありますか？

## 回答１

年齢制限はありません

合格者の平均年齢　　23.8　～　26.5歳
20代85％、30代10％
ごく少数ですが、40代、50代、60代の合格者もいる

## （補足）合格者の構成

男女比率　　男性29％　女性71％

社会人経験者　30％ 新卒者40％ 現役学生30％

海外経験（留学、就業、家族の同伴など）

有　９０％　無　１０％

## 質問２
応募時の質問事項「海外渡航歴」に
海外旅行の記入は可能ですか？

## 回答２
可能
少しでも多くの情報を記入して
自己アピールをしてください

**質問３**
応募時の質問事項「職歴」にアルバイトの記入は可能か？
社会人もアルバイトの記入は必要ですか？

**回答３**
可能
少しでも多くの情報を記入して自己アピールを

期間は可能な範囲で正確にご記入ください

**質問４**
応募の日時は選考に影響しますか？
**回答４**
影響しません

締め切り直前の応募で誤字脱字が多い方、
記載内容が少ない方は印象が良くないため、
しっかりと準備し、早めの応募をお奨めします

**質問５**
英語以外の言語で受験する場合、
英語能力は選考に影響しますか？

**回答５**
影響しません
ただし、自己アピールのため応募時は是非試験
言語以外の語学力もご記入ください

## 質問６
語学試験を受験していない場合
応募入力項目の「外国語のレベル」は
どのように記載すればよいですか？

## 回答６
フリーフォーマットですので、
ご自身で工夫が可能です

## 質問７
外国語能力以外に
派遣員に求められるスキルは？

## 回答７
即戦力として期待されている
社会人としての一般常識
ビジネスマナー
パソコンスキル（ワード、エクセルなど）

**質問８**
選考において
一番重視されるのは語学力ですか？
TOEIC、語学検定試験の結果は影響しますか？

**回答８**
派遣員業務を遂行可能な語学力は必須
**仕事の場で通用する語学力**が求められる
**協調性、適応力、柔軟性**などの適性も重要

**質問９**
派遣員として
どのような心構えが必要ですか？

**回答９**
日本外交の最前線であり
日本の顔となる在外公館の一員として
**責任と誇りを持って**赴任してください。

## 質問１０
活躍している派遣員の共通点は？

## 回答１０
積極性、知的好奇心旺盛な人物
協調性、適応力、柔軟性を備えた人物
謙虚さを兼ね備えた人物

**質問１１**
赴任前に外国語以外で勉強をすると
役に立つ知識はありますか？

**回答１１**
日本に関する基礎知識
（政治、経済、歴史、文化など）
着任後は、任地に関して学び、情報を収集し、
活躍してください

## 質問１２
一次試験をオンライン方式で
実施する予定はありますか？

## 回答１２
予定なし
東京、大阪の2会場で実施

**質問１３**
一次試験会場にスーツケースの持ち込みはできますか？
**回答１３**
可能

**質問１４**
試験会場に飲み物の持ち込みはできますか？
**回答１４**
可能
ただし、水分補給は休憩時間のみ、試験時間中は不可

**質問１５**
第一次試験当日は、どのような服装がよいですか？

**回答１５**
普段着で構いません。
感染症等の対応のため換気をしますので、着席位置等により室温に差が生じる場合もあります。
室温の高低に対応できるよう**調整し易い服装**でお越しください。

**質問１６**
希望公館はいくつまで選べますか？

**回答１６**
最大５公館
但し、試験言語によっては複数選択できないことがあります

**質問１７**
赴任を希望しない国・地域を書いた場合、
選考で不利になりますか？
**回答１７**
不利になりません。選考の参考とします。

**質問１８**
不合格の場合、次回以降の試験を受けることは可能ですか？
**回答１８**
可能。受験回数の制限なし。

**質問１９**
前回一次試験に合格の場合、
次回は一次試験を免除されますか？
**回答１９**
免除はなし
前回の試験結果を踏まえての評価はしておりません。

**質問２０**
派遣員経験者が再度受験することは可能ですか？
**回答２０**
可能

**質問２１**
辞退は可能ですか？
辞退をすると次回以降の選考に不利になりますか？

**回答２１**
可能
事前に申しましたが、
選考方法については回答は控えます

**質問２２**
専門調査員との併願は可能ですか？
注意事項はありますか？
**回答２２**
可能
注意事項は特になし

**質問２３**
任期満了後、専門調査員の受験は可能ですか？
**回答２３**
可能
採用されて活躍している派遣員OBOGが大勢います

**質問２４**
報酬は日本円で支給されますか？

**回答２４**
報酬の一部は外貨建て（米国ドル、ユーロなど）支給が可能

**質問２５**
**報酬は国内口座に支給されるのか？**

**回答２５**
**選択が可能**
**国内または海外の口座のいづれか１つの口座に送金**
**国内送金の場合は日本円、**
**海外送金の場合はUSD,EURなど外国通貨**

## 質問２６
急激な円安が進んだ場合
特別な手当の支給はありますか？

## 回答２６
手当はなし
ただし、報酬額の見直しをする
ことがあり得る
報酬の一部を外貨建て支給で対応

**質問２７**
物価が高い地域において月額報酬で
生活が賄えますか？

**回答２７**
物価等を考慮した任地ごとに定められた
報酬を支給
別途住居手当、年末手当（12月）を支給

# 質問２８
# 住居手当は？

# 回答２８

在外公館ごとに外務省が支給限度額を規定

規定に従い、派遣員に直接支給

支給額の範囲でセキュリティが確保できる住居の契約が可

家具代、光熱水料などは派遣員の自己負担

住居手当（限度額）は二次試験の際に提示

# 質問２９

## 住居手配（契約）はどのように行うのか？

# 回答２９

着任直後は基本
前任者が手配するホテルに一時滞在が多い

## 回答２９

ホテルに滞在中に住居探し

　住居探しは、前任者・現地職員の手伝いあり

　前任者から住居を引き継ぐケースも多い

　安全面などの考慮が必要

外務省の規定に従い、派遣員が契約

　在外公館の担当官の承認後に契約

**質問３０**
治安の悪い任地での防犯対策は？
**回答３０**
安全面の問題がない住居を契約できる
報酬、住居手当が支給される
一部の地域は防犯対策手当を別途支給

**質問３１**
安全面などを考慮し、女性を配置しない在外公館はありますか？
**回答３１**
現在はなし
かつては男性のみ赴任可の公館があった

**質問３２**
**時間外労働、休日出勤は多いですか？**

**回答３２**
**在外公館により、かなり差がある**
**大きな行事がある場合、多くなる**
**例：総理・外務大臣の外国訪問、**
**Ｇ７、G20、APEC、ASEAN会合など**

## 質問３３
任地で運転する必要がありますか？

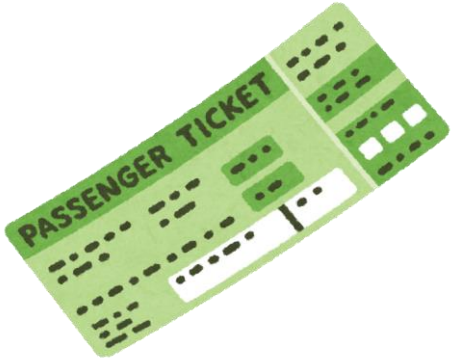
## 回答３３
任地により異なる、運転が不要な任地が多い
公共交通機関がない任地では
通勤手段として運転が必要なケースがある

業務上運転する必要はなし

**質問３４**
免許保持者であるが、運転に自信がないため、
自動車なしで生活できる任地を希望したいが、
可能ですか？
**回答３４**
可能。
応募エントリーの「希望しない国又は地域」に
記載ください。

## 質問３５
任期中に一時帰国の渡航費用の支給はありますか？

## 回答３５
健康管理休暇制度
　　一時帰国の航空賃支給の補助制度
　　一部の地域が対象（主に途上国）



## 質問３６
任地で医療機関を受診する場合
費用はどうなりますか？

## 回答３６
自己負担
海外旅行保険の加入を推奨
協会指定の海外旅行保険プランに加入した場合は、
基本保険料の7割を協会が補助。

既往症の場合は海外治療費として健康保険へ請求

**質問３７**
今回募集の派遣員の赴任時期は本年９月とあるが、日程が確定するのはいつですか？

**回答３７**
合格者確定後、在外公館と調整し赴任日程が決まる
目安は赴任前オリエンテーションの１週間前

**質問３８**
雇用は１年契約、更新は1回とあるが、契約更新する派遣員の割合は？

**回答３８**
派遣員の任期は原則2年
契約更新する割合は9割以上

**質問３９**
任期延長はありますか？
**回答３９**
派遣員の都合による延長は不可
在外公館の都合による延長はあり

**質問４０**
任期短縮はありますか？
**回答４０**
派遣員の都合による場合は、自己都合退職扱い
緊急退避が発動された場合はあり得る

**質問４１**
派遣員合格後、いつ派遣員として契約をするか？

**回答４１**
赴任（出発）の前日に協会と雇用契約を締結

**質問４２**
社会人で、休業制度を利用して
派遣員として赴任はできますか？

**回答４２**
可能
**副業、兼業は禁止**
協会と雇用契約を締結する前日までに休業手続き
を完了させてください

**質問４３**
家族の同伴はできますか？

**回答４３**
要件を満たせば、配偶者とお子さんの呼び寄せ可。
同伴は原則不可。
着任後6ヶ月以内であれば、航空賃を支給。

但し、任地の治安情勢等によっては、
呼び寄せができないこともありえる。

**質問４４**
家族に対する手当はありますか？

**回答４４**
要件を満たせば、配偶者手当を支給
配偶者の現地での就労は不可

お子さんに対する手当はなし

## 質問４５
前任者との業務の引継ぎは？

## 回答４５
（出発前）
前任者とメール等で連絡を取りあい、
生活立ち上げの準備、業務引継ぎなどを行う
（任地にて）
数日程度の引継ぎ期間あり

## 質問４６
前任者との業務の引継ぎ短く、
不安である

## 回答４６
赴任前オリエンテーション（研修）があり
任地の上司、現地職員に指示を仰ぐことが可

**質問４７**
**赴任前オリエンテーションとは？**
**回答４７**
**新人研修に該当**
**開催時期等：**
- **前期募集　7月下旬または8月上旬（102回）**
- **後期募集　1月下旬または2月上旬**
- **３～5日間実施**
- **オンライン、対面方式で実施**

**内容：**
- **赴任前･任期中の事務手続き**
- **ビジネスマナーをはじめとした社会人スキルの習得**
- **業務に関わる知識の習得**
- **派遣員OBOGとの懇談**

**質問４８**
**任期満了後のキャリアは？**

**回答４８**
**（注）復学、任期満了時点では就活中のケースもあり、**
**任期満了者全員のキャリアについては把握できていません。**

**任期満了時のアンケートによると、**
**民間企業への就職**
**海外での就業（１０％程度）**
**海外と取引のある企業への就職**
**公務員**
**地方公務員、国家公務員**

# 回答４８

海外の大学院への進学

修士取得後に国際機関へ

研究職へ（大学、シンクタンクなど）

**質問４９**
任期満了する派遣員に対する外務省職員採用試験がありますか？
**回答４９**
実施されているが、外務省の採用試験のため
具体的な内容については協会では把握していない

**質問５０**
派遣員は就職、転職に有利になりますか？
**回答５０**
派遣員次第
任期2年間をどのように過ごすかによる

**質問５１**
任期中、SNSの使用はできますか？

**回答５１**
可能だが、制約がある
業務内容、業務上知り得た情報、
派遣員として品位を落とすような内容などの
掲載は不可

**質問５２**

他の任地の派遣員同士の繋がりは持てますか？

**回答５２**

赴任前オリエンテーションで同期と一緒に研修を受け、
交流ができます。
派遣職員（派遣員、技術派遣員、専門調査員）専用の
意見交換等できるプラットフォームがあります。

**質問５３**

**OBOGのネットワークはありますか。**

**回答５３**

**現時点ではなし。**

**質問５４**
有益な試験対策方法は？

**回答５４**
語学力の面で言うと、十分な語学力を身に付ける

派遣員試験は就職試験、大学入学試験ではない
派遣員として活躍できる人材を採用する試験である

# 派遣員経験者インタビュー

派遣先：　在カラチ総領事館（パキスタン）

派遣期間：　2015年9月～2018年9月　（注）当時は任期が3年

合格時の身分：　私立大学3年生、休学して派遣員として赴任

現職：　公立高校　英語教諭

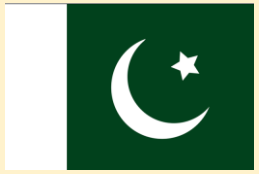
志望動機：　教員志望であったが、大学卒業後にストレートで
教職に就く前に別の仕事を経験したかった
特に海外での就労経験を得たかった

# 派遣員経験者インタビュー

任地での業務：

小規模公館ならではの多岐に亘る業務を担当

便宜供与
会計・事務処理
総領事館のウェブサイト管理
各種レセプションの補助業務
広報文化業務の補助（日本文化の紹介）



# 派遣員経験者インタビュー

任期中に得たこと：

英語力の向上、社会人としての経験は勿論

インフラ事情、生活習慣、宗教が日本とは大きく異なる異文化環境で体調を崩すこともあったが、仕事をする中で、自分の考えを英語で伝える力や、
自分がマイノリティーになるという貴重な視点を得ることができた。

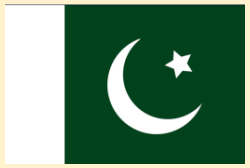
総領事館員、在留邦人、現地の方々など多様なキャリアの人たちと接し、
視野が広がった。

# 派遣員経験者インタビュー

任期満了後のキャリア：

大学へ復学し、教員免許を取得し、現在公立高校の英語教諭として勤務。
生徒たちには、英語の授業を通して、コミュニケーションの重要性や、英語圏は欧米だけではないこと、ネイティブの英語だけではないことを伝えている。

フルブライト奨学金の給付を受けて、今秋から米国の大学院進学し、教員養成について学ぶ予定。



# 派遣員経験者インタビュー

受験者へのメッセージ：

パキスタンで出会った多様なキャリアの方々から
刺激を受け、赴任前では考えもしませんでしたが、
フルブライト奨学金に挑戦し大学院へ進学する予定です。
海外での生活は、戸惑ったり悩んだりすることもありますが、
自分の可能性やチャンスを見つけるためにも、挑戦して欲しいです。

（お知らせ）

## 派遣員新サイト開設

OBOGからのメッセージを掲載
是非ご覧ください

# アンケートへのご協力をお願いします

チャットにアンケートをリンクしております

本日はご清聴ありがとうございました
皆様のご応募をお待ちしております

一般社団法人国際交流サービス協会